

事業所名

七尾病院

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

2月

4日

理念	地域の障害児本人・家族への療育支援を行い、安心と笑顔、堅実な医療を通して貢献する。				
支援方針	一人一人の個性や発達段階に応じた療育を行います。子どもたちが“できるという自信”や“達成感”を持てるように支援を行い成長を促進させます。				
営業時間	8時	35分	17時	00分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し、必要な医療的ケアを行います。 心身の状態の変化に適切に気が付けるようきめ細かな観察を行い、併存疾病の神経学的診察も行います。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持や関節の拘縮、変形予防のためのリハビリを行います。 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭感覚等の感覚を十分に活用できるよう、神経学的診察を通して遊びや学習の内容を工夫します。 体を動かす遊びを行い、体幹や筋力を鍛えます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で、形、色、大きさ、数、時間等の概念が習得できるよう支援を行います。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 表情や身振りなど子どもの状態に応じた意思のやりとりができるよう支援をします。 子どもが表現できたことを褒めることでフィードバックし、「できた」という気持ちを感じられるように支援します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが好きなこと、得意なことを遊びに取り入れ、自信や達成感を感じることができるよう支援をします。 集団療育を通して、ルールや順番を守ることを学び、協調性や共感性を育み仲間づくりにつながるよう支援をします。 安心して過ごせる場所となるよう職員のかかわりの工夫や環境調整を行います。様々な人とふれあったりや体験ができる場所となるようにします。 			
家族支援	（発達障害）保護者とともに療育を行っています。終了後には子ども、保護者、職員の3者で振り返りの時間を設けています。また、困りごとがある場合はその都度お話を伺います。定期的に面談を行い支援内容や発達状況などを保護者と話す機会を設けています。	移行支援	子どもの状況や保護者の思いを伺い支援をします。担当者会議等で保育所やその他機関と情報共有をします。		
地域支援・地域連携	相談支援専門員と情報共有	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 院内、院外での研修への参加 定期的なケースカンファレンス 		
主な行事等	誕生会 季節の行事				